

第1学年B組 国語科学習指導案

授業者 大谷 颯

1 単元名・教材名

「表現を工夫してスピーチしよう ～スピーチ入門先輩から学ぶ～」
○話の構成を工夫しよう（『国語1』光村図書）

2 生徒の実態と本単元の意図

(1) 本単元に至るまでの指導の系統

育成すべき国語の能力 〔思考力、判断力、表現力等〕	学習内容	単元・教材名 〈実施時期〉	学習活動と関連する 他領域等の指導
・資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫すること。 （小5・6年ウ） ・話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫すること。 （小3・4年ウ）	・資料を用いて自分の考えを伝えるスピーチ ・場面を意識したスピーチ	話し方を工夫してスピーチしよう 〈6年・2月〉 わたしたちの学校をじまんしよう 〈3年・2月〉	・文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話の構成の展開の特徴について理解すること。 〔知識及び技能〕カ

(2) 生徒の実態と本単元の意図

本校の生徒は、人前で話をする機会が多い。行事や委員会活動において、先輩が堂々と話している姿にあこがれを抱く生徒も数多くいる。学習前のアンケートを行うと、「話すこと・聞くこと」における意識は以下の通りである。

【アンケート項目】

- | | |
|--------------------------------|--------|
| ・人前で自分の考えを發表することができる。 | 71. 2% |
| ・自分の考えを分かりやすく表現することができる。 | 65. 4% |
| ・話し合いで意見を出し合い、自分の考えを伝えることができる。 | 68. 4% |

以上の結果から、約7割の生徒は、自分の考えや意見を發表することができると思う。一方でどのようにすれば分かりやすく相手に自分の考えや思いを適切に表現することができるかがわからずに戸惑う生徒もいることが分かった。また、前に立ち、話をする場面では原稿を読むことに夢中になり、聞いている人の反応を踏まえての表現を苦手とする生徒もいることが分かった。

そこで、今回の単元では、相手の反応を踏まえて、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現の工夫をして話す活動を設定した。表現の工夫を充実させるために、単元名を「表現を工夫してスピーチしよう～スピーチ入門先輩から学ぶ～」とし、日常生活から話題を設定し、スピーチを行う。今回、良いスピーチのモデルを上級生とし、どのような表現の仕方や工夫をしているかを確認することで、自分自身のスピーチに活かしていく活動を行う。また、相手の反応を踏まえながら、スピーチを行うために、自身のスピーチを撮影し、ペアで助言や問題点を出し合い、聞き手の反応から、話の受け止め方や理解の状況を捉えさせる。中学校の国語の学習の導入期として「話すこと・聞くこと」について活動を通して学び、表現の育成につなげていきたい。

(3) 「挑戦心を高め、思考を深める協働的な学びのデザイン」に関連して

【手立て1】生徒自らの「挑戦心」の意識化

本単元では、スピーチにおける理想的な姿を示し、それに向けて活動を行っていく。今回は、その入門として、生徒自身が観点を決め、良いスピーチを行うためにどうすればよいかを考えさせた。また、本校の上級生をスピーチのモデルとして活用し、映像を見せることで、理想の形をインプットさせ、スピーチの型を身につけさせたい。さらに、生徒の実態に合わせ、スピーチ原稿を作成するか、スピーチメモを作成するかを選ばせ、個別最適な学習を行う。生徒自身のスピーチを初回と、級友から助言や改善点をもらったあとの発表会で撮影を行う。本番のスピーチに向けて、自分の思いが伝わるようにするために意識すべき点や、上達した点を生徒自身が実感し、比較しながら振り返りを行う。試行錯誤しながら、生徒自身が、スピーチの場面で自らの「挑戦心」の意識化を図ることができるのではないかと考える。

【手立て2】教師や仲間との協働的な学びの充実の手立て

本単元では、授業の導入で、「人と話すときに気をつけていること」について自身の考えを付箋で示し、グループで共有する。生徒は級友の考えを読み、異なる視点から自分の考えを検討していく。また、スピーチの全体発表会を行う前に、ペア学習でプレ発表会を行い、スピーチの様子を撮

影し、ペアで助言や質問などを相互に行う。そこでの課題や問題点を話し合いながら、自らの課題を見つけ、スピーチの改善を図ることが協働的な学びの充実につながるのではないかと考える。

3 単元目標

- (1) 原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解することができる。
(知識及び技能) (2)ア
- (2) 日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討することができる。
(思考力、判断力、表現力等) A(1)ア
- (3) 相手の反応を踏まえながら、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫することができる。
(思考力、判断力、表現力等) A(1)ウ
- (4) 言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。
(学びに向かう力、人間性等)

4 本単元における言語活動

自分が伝えたい内容をまとめ、相手の反応を見ながらスピーチする。 (関連：言語活動例ア)

5 本単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。 (2)ア	①「話すこと・聞くこと」において日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。 (A(1)ア) ②「話すこと・聞くこと」において相手の反応を踏まえながら、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫している。 (A(1)ウ)	①積極的に、集めた材料を整理し、自分の考えを分かりやすく伝わるように表現するために、学習課題に沿って、スピーチをしようとしている。

6 指導と評価の計画 (全6時間) (…「挑戦心を高め、思考を深める協働的な学びのデザイン」を特に意図した場面)

時	学習活動	学習内容	評価規準・評価方法
1 ・ 2	○学習のねらいや進め方をつかむ。 表現を工夫してスピーチしよう～スピーチ入門先輩から学ぶ～ ○「人と話すときに気を付けていることは何か」を考える。	○学習課題と進め方 ○既存の知識の確認 ○スピーチの仕方	
	【生徒の活動の様子】 グループに分かれ、付箋で考えを貼り付け、グループで確認し合う。	話すときに気を付けていること 聞き取りやすい速さ 声の大きさ 相手に聞こえる音量 相手が聞いているか反応をたしかめる。 相手がわかる言葉を選ぶ 抑揚や身振り手振り できるだけ伝えたいことを簡潔にする。 相手が興味をもつような話題を選ぶ 視線を合わせて話す。 表現に気を付ける。 分かりやすく伝えるために具体的に話す。 話の途中で相手が理解できているか確認する。 相手が話すときには真剣に聞く。 話の内容に合わせて、声やトーンを変える。	
	○先輩のスピーチの映像を見せ、特徴をつかむ。	○スピーチの工夫	
	【生徒の発言・記述例】 ・先輩は全体を見渡しながらかた話をし、声の大きさも聞き取りやすい。 ・話すときに同じ速度ではなくて、間を意識したり、抑揚もつけて話をし、わかりやすかった。 ・表情が豊かで明るかったから安心感があつた。 ・難しい内容も具体的なことに置き換えていて意味も理解できた。 ・共感できる内容で自然と聞き入ってしまうスピーチだった。		
	○スピーチの題材を決める。 好きな言葉を通して新たな自分を紹介しよう	○題材決定の仕方	【知識・技能①】 ノート ・ここでは、マッピングを用いて情報と情報の関係を理解し、それらを使って、「好きな言葉」から連想できる題材を選択しているかを確認する。
	○話題を決め、材料を選び、思考ツールを用いて発想を広げる。	○思考ツールの使い方	

3・4	○スピーチ原稿・スピーチメモをどちらかを選び、作成する。	○構成の仕方 ○効果的なスピーチの仕方	
<p>【生徒のスピーチ原稿例】※吹き出しは生徒が原稿に書き込む「話し方・話す内容」</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>前向きな発言をするときには表情も明るく、身振り手振りを織り交ぜながら話をする。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>「挑戦」を繰り返し使うことで強調して大切な言葉であることを聞いている人に伝える。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>「ありますか。」の後に間を開けて全体を見渡す。反応を見て話を続ける。</p> </div> </div> <p>みなさんは、何かに挑戦するときに、最初は楽しい気持ちで始めても、途中で苦しくなったり、うまくいなくてあきらめたくなくつてしまった経験はありませんか？</p> <p>そんなときこそ、「挑戦」することが大切です。私が今回、紹介したい「挑戦」という言葉は、素晴らしい言葉です。</p> <p>私も、小学生の頃からサッカーを習ってきましたが、最初はうまくいかず、試合でも、相手のプレスに負けてボールを取られてしまいい、何度も失敗しました。しかし、今ではクラブチームのレギュラーになることができました。そんな私の経験から、あきらめずに「挑戦」することが大切だと感じました。みなさんも、自分が夢や目標とするものに向かって、挑戦し続けることで、必ず成長することができます。</p> <p>これで、私のスピーチを終わりにします。</p>			
<p>【生徒のスピーチメモ例】※吹き出しは生徒がメモに書き込む「話し方・話す内容」</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>自分の経験から大切にしていることを詳しく伝えるために必要に応じて、繰り返し話すことを意識する。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>もっとも伝えたい言葉を強調して話すことを意識する。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>声の調子を明るくして、笑顔でハキハキとゆっくりと話す</p> </div> </div> <p>スピーチメモ</p> <p>挑戦することの大切さ</p> <p>みなさんは、楽しい、苦しい経験</p> <p>「そんなとき」 紹介 素晴らしい</p> <p>「私も」 練習 大切な夢</p> <p>「これで」</p> <p>問いかけるように、聞いている人を見ながら、語り掛けるようにする。</p>			
○スピーチを練習し撮影する。		○スピーチで意識する観点	<p>【思考・判断・表現①】</p> <p>思考ツール（ワークシート）ノート</p> <p>・ここでは、「好きな言葉」から話題を決め、集めた材料を整理してスピーチの構成を考えているかを確認する。</p>
⑤（本時）	○撮影した自分のスピーチを分析する。 ○ペアで互いのスピーチを視聴し合い、助言や質問をし合う。	○相手の反応を踏まえたスピーチの仕方 ○表現の工夫	<p>【思考・判断・表現②】</p> <p>観察・ワークシート・撮影した動画</p> <p>・ここでは、相手の反応を踏まえながら、自分の考えが分かりやすく伝わるようにスピーチを工夫し、ペアからの助言を踏まえてスピーチを再検討している。</p>
6	○スピーチを発表する。 ○単元の振り返りをする。	○思いや考えが伝わる表現の仕方	<p>【主体的に学習に取り組む態度①】</p> <p>観察・振り返り</p> <p>・ここでは、前回のスピーチ練習をもとに、話す内容や表現の工夫を整理し、自分の考えが分かりやすく伝わるようにスピーチをしようとしているかを確認する。</p>
<p>【生徒の振り返りの例】</p> <p>私は、話す速さと視線、間の取り方の観点を意識してスピーチの練習をした。スピーチ原稿を作る時にも、書き込みをして、意識することを心がけた。友達のアドバイスを受けて、自分が思っているよりも話す速度が速いことを知り、ゆっくりと聞いている人を見ながら話すことを本番では意識することができた。一文を短くすることで聞いている人にも分かりやすく伝えることができるので、今後の活動でも活かしていきたい。</p>			

7 本時の学習指導（5／6）

(1) 目標

- ・相手の反応を踏まえながら、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫することができる。
- 〈思考力、判断力、表現力等〉A(1)ウ

(2) 展開

【前時の学習内容】○効果的なスピーチの仕方		
学 習 活 動	学 習 内 容	指導上の留意点・評価
1 前時の学習を振り返り、 本時の目標を知る。 —本時の目標— プレ発表会で改善点を発見して、よりよいスピーチにしよう		○学習の目標を示す。
2 撮影した自分のスピーチを分析する。	○相手の反応を踏まえたスピーチの仕方 ○効果的なスピーチの仕方	○自分の考えを適切に伝えることができているかを確認させる。
3 ペアで互いのスピーチを視聴し合い、助言や質問をし合う。	【スピーチの自己・相互評価の観点例】 話し方 ・声の大きさ・速さ ・間の取り方・強調・視線・表情 ・身振り手振り 等 話す内容 ・構成・語彙 等	○観点を意識したスピーチをさせる。 ○相互に助言や質問を行い、よりよいスピーチにするにはどうすればよいかを考えさせる。
【生徒の助言、質問例】 話し方 ◇間を取ることで、リズム感があって、聞いている人も聞き取りやすく伝わるね。 ◆原稿を読むことに集中してしまっていて、相手の反応を見ることができていないのではないかな。 話す内容 ◇紹介したいことが明確で、伝えたいことがわかりやすいね。 ◆聞いている人がわからない言葉があると、伝わりにくいから、言葉を置き換えてみるといいね。		
4 ペアの意見を踏まえてスピーチの改善をする。	○表現の工夫	○ペアに撮影をしてもらい、繰り返し自分のスピーチを確認させる。
【生徒のスピーチ原稿例】※吹き出しは助言や質問をもとに改善したワークシートへの書き込み		
<p>私、小学生の頃からサッカーを習ってききましたが、最初はうまくいかず、試合でも、相手の守備に負けてボールを取られてしまい、何度も失敗をしていました。しかし、諦めずに練習を重ね、今ではクラブチームのレギュラーになることができました。そんな私の経験から、あきらめずに「挑戦」することが大切だと感じました。みなさんも、自分が夢や目標とするものに向かって、挑戦し続けることで、必ず成長することができます。</p> <p>これで、私のスピーチを終わります。</p>	<p>みなさんは、何かに挑戦するとき、最初は楽しい気持ちで始めても、途中で苦しくなったり、うまくいかなくてあきらめなくなってしまう経験はありますか。そんなときこそ、「挑戦」することが大切です。私が今回、紹介したい「挑戦」という言葉は、あきらめずに努力して続けることで、自分自身を成長させることができる素晴らしい言葉です。</p>	<p>話し方</p> <p>聞いている人への目線を意識。言葉と言葉の間に注意。</p> <p>話す速度は一定にせず、緩急をつけることを意識する。</p> <p>質問を投げかけ、聞いている人の反応を見る。</p>
話す内容	<p>「諦めずに練習を重ね」ペアからのアドバイスをもとに加筆する。</p> <p>専門用語は使わず、わかりやすい言葉を用いる。</p> <p>「挑戦」という言葉について、補足して説明し、自分がなぜ、この言葉を選んだのかを聞いている人に伝える。</p>	<p>【評価場面】</p> <p>〈評価規準〉 【思考・判断・表現②】 ノート・観察・撮影した動画</p> <p>・ここでは、相手の反応を踏まえながら、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫しているかを確認する。</p> <p>〈「努力を要する」状況(C)への手立て〉 ・自身で撮影した映像を見ながら、原稿を読むことに意識を向けずに、スピーチで意識する観点を示し、改善策を考えさせる。</p>
5 本時のまとめをする。		
【次時の学習内容】○思いや考えが伝わる表現の仕方		